

令和3年度  
中国四国農政局補助事業事後評価技術検討会（第1回）

議 事 録

事務局

ただ今から中国四国農政局国営等事業管理委員会 補助事業に係る事後評価技術検討会を開催します。

本技術検討会は、「原則公開」とされていることから、11月8日に、本日開催する旨をプレスリリースするとともに、当局ホームページにも掲載したところですが、傍聴等の申し込みはありませんでした。

事務局

本日は第一回の技術検討会ですので、技術検討会規則の規定により委員長の選出をお願いします。

委員長は、委員の互選により選出して頂くこととなりますが、どのように取り計らいしましょうか。

佃委員

諸泉委員を委員長に推薦します。

事務局

諸泉委員、委員長をお願いできますでしょうか。

諸泉委員

お引き受けします。

事務局

それでは、諸泉委員に委員長をお願いいたします。

技術検討会規則により、委員長には、委員長代理をあらかじめご指名頂くこととなっておりますので、諸泉委員長におかれましては、委員長代理のご指名を頂いた上で、議事の進行をお願いします。

諸泉委員長

諸泉です。この度の技術検討会の議事につきましては、技術検討会委員の方々、関係者の皆様の協力を得ながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

委員長代理の指名は、徳島大学の河口委員にお願いします。ご意見等ございませんでしょうか。

## 技術検討会委員

異議無し。

## 諸泉委員長

それでは、河口委員に委員長代理をお願いします。

さて、それでは早速ですが、議事次第により進めたいと思います。

議事次第1の「令和2年度事後評価の進め方」について事務局より説明をお願いします。

## 事務局

～資料説明～

## 諸泉委員長

ただいまの件について、何かご質問等はございますか。

## 豊田委員

事後評価対象地区を選定する際に事業主体の協力が得られる範囲となっておりますが、どのように選定しているのでしょうか。

## 事務局

補助事業の事後評価が政策評価法に位置付けられていないことから、事業主体である県がデータ等の提供を協力してくれる地区から選定をしています。対象地区は候補地区のうち2割程度を目安に選定していることから、本年度は1地区が対象地区となっております。

## 諸泉委員長

他にございませんか。それでは、議事次第2の令和3年度補助事業事後評価書「能義第2地区」についての説明及び質疑に入ります。

## 事務局

～資料説明～

## 諸泉委員長

ただいまの件について、何かご質問等はございますでしょうか。

## 佃委員

質問ということではありませんが、整備事業を終えた後が鮮明に写ります。法人化することによって若い力を導入すること、女性や高齢者も一緒に地域を守る取組は素晴らしいと思います。この取組は整備事業によってなされた先進的でお手本になるような取組です。

評価書案の中に、将来を見据えた中長期プランとあるが、どのようなものか少し補足説明してもらえないでしょうか。

## 事務局

将来を見据えて、若い人が営農を継続できるように水稻だけではなく、6次産業化やスマ

一ト農業の推進など新たな作付けや取り組みを目指す計画を作成しています。

#### 豊田委員

事業完了後の評価は重要だと考えています。今回のような効果があることをどのように広報しているのでしょうか。

若い人が増えているということで良いですか。

農業生産額を見ると作物毎にみるとプラスになっているものもありますが、総額では計画まで達していませんが、その要因は何でしょうか。

#### 柵木部長

広報の話については、優良事例を横展開するために事例集を作って、ホームページに掲載したり、会議で配布したりしています。

作物については、その時のニーズによって価格や作物も変わってきますので、今回は現時点での状況で事後評価させて頂いているところです。

飼料用米やWCSについては、輸入飼料から置き換わることなどで、より安心な畜産物が生産されるなどの効果も出ていると思いますが、この評価書の中ではそこまでは整理できていません。

#### 事務局

アスパラガスなども計画には上がっていましたが、事後評価時点の作付けは行われていません。これも試験的に作付けは行ったものの、生産コストが思った以上にかかったことから、法人の経営的な判断により現在、作付けは行っていないと聞いています。

現在は法人が9割を集約して生産しているので、法人の判断により作付作物の面積は変わってきています。

#### 豊田委員

なたね油の収入などは計上されていないが、これも生産額でいうとプラスに働くと考えて良いですか。

#### 事務局

なたねの搾油を委託して、法人自らがなたね油を販売していますが、数十万円単位の販売額であり、そんなに大きな金額とはなっていません。

#### 諸泉委員長

これはキャベツがすごく良さそうですが、そういった理解で良いですか。

#### 事務局

令和3年には3.0haとなっているので、少しずつ作付けは増えてきているようです。

#### 諸泉委員長

それでは、他にご意見がないようですので、本日の技術検討会の議事を終了します。進行を事務局にお返しします。

## 事務局

諸泉委員長、どうもありがとうございました。技術検討会委員の方々におかれましては、本日は大変お忙しい中をご出席いただきまして、ありがとうございました。

先ほどいただきましたご意見等につきましては、今後の局内の委員会の中で、さらに検討をいたしまして、次回の技術検討会でご報告を致したいと考えております。

なお、本日の議事内容につきましては、事務局でとりまとめまして、今後、各委員のご確認を頂いた上で公表することになりますので、よろしく申し上げます。

それでは、以上をもちまして、令和3年度中国四国農政局補助事業事後評価技術検討会（第1回）を閉会とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

---

### （参考）中国四国農政局事後評価技術検討会の概要

#### 1 日 時

令和3年11月16日（火）15:00～15:30

#### 2 場 所

中国四国農政局道前平野農地整備事業所2階会議室

#### 3 出席者

##### 【中国四国農政局事後評価技術検討会】

佃 俊 子	東讃地区生活研究グループ連絡協議会 会長
豊 田 知 世	島根県立大学地域政策学部地域政策学科 准教授
諸 泉 利 嗣	国立大学法人岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授

##### 【中国四国農政局国営等事業管理委員会】

柵 木 環	農村振興部長
山 口 康 広	農村振興部 農地整備課長

##### 【事務局等】

浅 野 弘 幸	農村振興部 土地改良管理課
---------	---------------

#### 4 提出資料

- ・議事次第
- ・出席者名簿
- ・令和3年度補助事業事後評価の進め方について
- ・令和3年度補助事業事後評価書「能義第2地区」